

橋梁補修工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
ひび割れ補修工					
低圧注入工法					
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)		1	1.0	1	構造物
補修延べ延長		図面より2.15	2.15		m
注入材	エポキシ樹脂注入材3種	別紙計算書より 0.0440	0.04		kg
シーラ材	エポキシ樹脂系シーラ材	別紙計算書より 0.2064	0.21		kg
材料費	補充可能型注入器具 (低圧注入工法)	延長2.15/間隔0.3	7.2	8	個
断面修復工					
左官工法					
断面修復工 (左官工法)		1	1.0	1	構造物
材料費	ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	図面より0.0584	0.058	0.06	m3
殻運搬	Co構造物(無筋) DID無 10.9km以下	0.0584	0.058	0.06	m3
処分費	Co構造物(無筋)	0.0584*2.35	0.14	0.1	t
表面含浸工					
簡易清掃	夜間無、制約無 高所無	図面より20.2	20.2	20	m2
下地処理	夜間無、制約無 高所無	図面より20.2	20.2	20	m2
含浸材塗布	夜間無、制約無 高所無	図面より20.2	20.2	20	m2

2. ひびわれ注入工

(1) 集計表

項 目	単位	下部工	合 計
ひびわれ延長	m	2.150	2.2
ひびわれ注入量（土木補修用エポキシ樹脂注入材 3 種、ロス率含む）	kg	0.0440	0.0440
シール材（エポキシ樹脂、ロス率含まない）	kg	0.2064	0.2064
低圧注入器具	個	8	8

(2) 下部工

A1・A2橋台

NO.	ひびわれ注入材：土木補修用エポキシ樹脂注入材 3 種						シール材：エポキシ樹脂				
	ひびわれ幅 (m)	深さ※1 (m)	延長 (m)	密度 (kg/m ³)	ロス率 (+0.15)	注入量※2 (kg)	シール幅 (m)	厚み (m)	密度 (kg/m ³)	ロス率 (+0.15)計 上なし	必要量※3 (kg)
1	0.0004	0.100	0.600	1150	1.15	0.01587	0.030	0.002	1600	1.00	0.05760
2	0.0003	0.100	0.600	1150	1.15	0.01190	0.030	0.002	1600	1.00	0.05760
3	0.00025	0.100	0.200	1150	1.15	0.00331	0.030	0.002	1600	1.00	0.01920
4	0.0002	0.100	0.200	1150	1.15	0.00265	0.030	0.002	1600	1.00	0.01920
5	0.0002	0.100	0.300	1150	1.15	0.00397	0.030	0.002	1600	1.00	0.02880
6	0.0005	0.100	0.150	1150	1.15	0.00496	0.030	0.002	1600	1.00	0.01440
7	0.0002	0.100	0.100	1150	1.15	0.00132	0.030	0.002	1600	1.00	0.00960
合計			2.150	合計		0.04398	合計				0.20640

※1 ひびわれ深さ10cmは想定値とする。

※2 注入量 = (ひびわれ幅) × (深さ) × (1/2) × (延長) × (密度) × (ロス率)

※3 必要量 = (シール幅) × (厚み) × (延長) × (密度) × (ロス率計上なし 1.0)

ひびわれ延長	L	=	2.150	m
ひびわれ注入量（土木補修用エポキシ樹脂注入材 3 種）	W ₁	=	0.04398	kg
シール材必要量（エポキシ樹脂）	W ₂	=	0.20640	kg
低圧注入器具	N	=	8	個 (0.300m/個)

橋梁補修工

[illegible]

交通誘導員

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
交通管理工					
交通誘導警備員					
橋梁補修工		数量計算書より 3.4	3.4		日
					日
計			3.4	3.5	日
計上人数					
交通誘導警備員B 交代要員有り	2人配置(交代1) 起終点各1人	3.5日*3人	10.5	10.5	人日